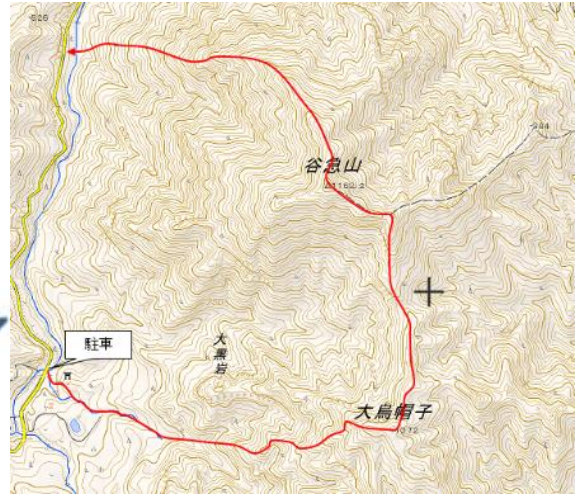


大黒岩～谷急山山行報告

- <山域> 妙義
<日程> 12月9日(土) 晴れ
<メンバー> 柘植(CL)、石橋(SL)、菌田、澤田淳(記録)
<行程> 正八幡神社前～大鳥帽子～三方境分岐～谷急山～県道松井田軽井沢線～正八幡神社



八幡神社手前の道路脇に駐車し、8時35分山行の無事を神社にお祈りしてから入山川の支流にかかる怪しい古い鉄の橋を一人ずつ渡り、沢沿いを渡渉したりしながら行く。リーダーは沢靴なのでスイスイ行すが、登山靴の私たちは滑らないよう慎重に進む。やがて沢をはなれ大黒岩方向の尾根を目指し道なき斜面を落ち葉に滑り木に頼りながら登る。



大黒岩は今回は寄らずに進む



左は山急山 中央に浅間山 右に大黒岩



山頂付近はズリ落ちそうな急斜面の連続

ここから先は痩せ尾根、岩稜帯となる。リーダーの苦手と言う両側キレ落ちている尾根もいくつかでくる。岩を巻いたり道を見失ったりしながら何とか谷急山への登山道にでる。少しほっとする。12時5分谷急山 1162m 到着。ここで大休止して、コーヒーを入れる。ブラックベリージャムのサンドイッチと至福の時である。大好きな浅間山や裏妙技の山々、烏帽子岩や赤岩や丁須の頭やらを堪能する。



穏やかな冬枯れの大烏帽子山頂



谷急山に向かう稜線の後半はいやな岩場の連続



概ね左斜面を巻くが急傾斜でイヤらしい



ようやくたどりついた谷急山

三角点の脇から北稜を下山。ここがまたえらく急な下山道で、細いナイフリッジを木や木の根や岩を頼りに落ちるように下っていくのだが、どれも安心できないので、ずっと緊張状態である。途中柱状節理が見えるはずとリーダー。本当に見事に柱状にマグマが固まった壁が見えてくる。いつなだらかな道になるのかとうんざりしてくる頃入山川に降りてしまう。結局、ずっと急斜面だったのだ。ヨレ



山頂でのんびり（背後は表妙義）

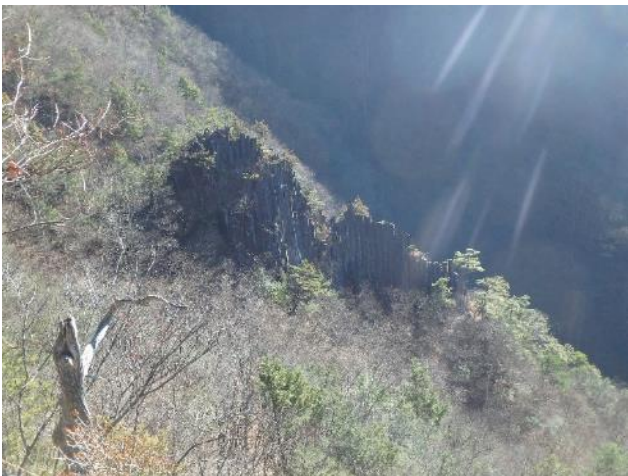
ヨレとガードレールをまたぎ、14時10分県道に出る。朝お参りした神社に無事生還できたことを感謝して車に戻る。14時35分。



一応木はあるが両側切れ落ちていて気が抜けない



北稜の核心部を望む



このルートでは有名な柱状節理



下部に至ってもクライムダウン

横川峠の湯により、これから行く下仁田は、ネギとこんにゃくが有名なので、上州牛とすき焼きにしましょうと急遽決定。下仁田のAコープで買い出し道の駅下仁田にむかう。すき焼きを食べるのは久しぶりの4人なので大満足し、明日の毛無山に向けて就寝。

報告 : 澤田淳子